

2006年1月～2012年12月に当院にて乳がんの手術治療を受けた方へ

研究:「予後予測における乳がん発症リスク因子の意義」の実施について

1. 本研究の意義および目的

月経の有無、妊娠・出産の有無、初経年齢、ホルモン治療歴などは、乳がん発症リスク因子として知られております。日本では高齢化、少子化、晩婚化が進み、不妊治療、高齢出産の機会が増えております。これら乳がんは発症リスク因子が、乳がんの予後に影響を与えるとされております。乳がん発症リスク因子と乳がん発症後の予後との関連性を調査することで、上記のような生活の変化が、乳がんの予後にどのような影響を与えるかを知ることが可能です。

2. 研究の方法

当施設で、2006年から2012年の間で手術療法を実施した患者さんの診療情報を集積し解析します。診療情報は診療録および治療データベースより収集します。取得した診療情報には番号を付与し匿名化いたします。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は施錠可能な保管庫で保存し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2018年12月末、予定症例数は四国がんセンターでおおよそ3800例です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法(および結果)についての資料を見ることができます。希望される場合は、担当医師にお伝えください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 四国がんセンター

【研究責任者】 大住省三

10. 連絡先

〒781-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160

四国がんセンター 大住省三

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1100

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい